



深田久弥

山の文化館だより

令和2年
冬号

深田久弥 山の文化館
〒921-0067
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL 〇七六(一)七二一三三三一
FAX 〇七六(一)七二一三三三一

資料文献室より 資料文献室は文献を求めています!!

資料文献室の写真です。「ウワー」と感嘆の声を上げ、山好きの来館者の足を釘付けにします。時間のない方は「また来ます」と言って帰られる様に、本好きにとってはたまらない空間なのです。ほぼ一日居た方もいらつしゃいます。写真を見るぶんには、開設当時と余り変わり映えしませんが、少しずつ進化しています。



「蓼科山、八ヶ岳」とペンで手書きされた高質な地図があった。拡げてみると、「蓼科山」と「八ヶ岳」の地形図が貼り合わされた縦長のものである。それぞれ、地勢図「長野」の十二番と「甲府」の九番である。書き込みはと見ると、蓼科牧場から蓼科山へ向かう登山道には、御泉水までの赤鉛筆があり、牧場事務所の文字と小屋の記号、大石平峠（現在のスズラン峠か）

久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その8



という地名の鉛筆書きがある。牧場事務所は現地で鉛筆書きしたものをペンで書き直してある。他に、蓼科高原親湯から大河原峠を越えて佐久の方へ斜めに引かれた、長い赤鉛筆のラインがある。

それぞれ対応する作品があり、「蓼科山」と「大河原峠」である。「蓼科山」は、同行者は定かではないが、昭和十年九月、蓼科牧場から登り新湯に下った登山の様子が書かれている。昭和十一年六月『帝国大学新聞』に掲載されたもので、『山岳展望』に収録されている。

「大河原峠」は昭和十二年十月、登山初心者の島木健作を伴い、蓼科高原に紅葉を求めた旅の紀行文である。温泉に一泊し、翌日大河原峠を越えて佐久へ抜け、小諸から夜行列車で帰京している。文中では、山の形や感じの描写についての思いや苦労についても語っている。昭和十三年一月号の『文学界』に掲載され、『山の幸』に収録されている。

現在の地図を並べ見比べると、のどかな牧場はスキー場になり、牧場事務所の辺りは建物が建ち並び、蓼科高原は当時も開発が進んでいた様であるが、ほかにも蓼科山麓（麓）は、到る所に別荘地が広がっており隔世の感がある。

山の文化館の自然

まず、上空からの山の文化館です。紅葉まっさかりの時期、KAGGA旅・まちネットが撮影したドローン映像から一枚頂戴しました。この景色は、テレビ金沢の山の文化館特集でも使われました。大イチョウの、普段見ることのないアングルからの写真で迫力があります



す。下からの眺めも素晴らしいので今年の秋十一月半ばには是非お越し下さい。つぎは、楨の梢のヤマバトの雛たちです。周りを剪定したので、今年も巣があるかどうか疑問ですが、自然がいつぱいの山の文化館ならではの写真です。もう一つ、自然豊かな館に訪れた珍客の写真、タヌキです。どこに住んでいるのやら。そのほかにも、ニホンザルの親子も見かけます。

この一冊

『異端の登攀者』と題する大冊がある。副題には「第二次RCCの軌跡」とある。初代代表の岡部一彦の「はじめに」と題する文章に始まり、その内容に目を通せば、奥山 章をはじめとする多くの先鋭的クライマー達の熱い想いが伝わってくる。後半には『RCC時報』の一号から十三号までが完全収録されている。「あとがき」には表題の「異端」という言葉についての想いも書かれている。ちなみに、深田久弥もこの第二次RCCの同人であった。ご興味のある方は、資料文献室でお読み下さい。

間こら会予定

月に一度、山に関わるお話を聞いています。ぜひご参加下さい。(聴講無料)

午後一時半より三時
深田久弥山の文化館聴山房

■一月十九日(日)
演題：深田久弥と地形図
〜收藏品地形図と作品〜

講師：深田久弥山の文化館 大幡 裕

■二月二十三日(日)

演題：丸山先生とはつしほ俳句会
講師：はつしほ俳句会 正藤 宗郎氏

■三月八日(日)

演題：いしかわ動物園における
ライチョウ飼育の取組みについて
講師：いしかわ動物園 堂前 弘志氏

読書会のお話し

『日本百名山』など深田久弥の作品を読んで、山やその自然、文化について語りあっています。お気軽にご参加下さい。(参加無料)

一月十七日(金)「北岳」

二月二十一日(金)「浅間山」

三月二十日(金)「至仏山」

●場所：深田久弥山の文化館
●時間：午後一時半より三時

*詳細はホームページをご覧ください

編集後記

冬号をお届けします。冬と言っても雪がありません。下界だけではなく山の雪もとても少ないようです。せめて、スキー場と山にだけはたっぷり降ってほしいものです。降るものが降らないと雪山が楽しめません。

Y.O

各種お知らせ詳細はホームページをご覧ください

深田久弥山の文化館ホームページ <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>